授業科目名	特定行為実践（チーム医療）	単位数	2単位	時間数	22.5時間
授業科目名英字	Nurse designated procedures (Team medical)	必修・選択	NP必修	受講対象年	1年次
科目コード	9510005	授業の形式	講義、演習、実習	講義室等	第6講義室
開設学期等	前期 土曜日 9・10時限				

【担当教員名】	【職名／所属】	【研究室番号】	【電話番号】	【担当教員名】	【職名／所属】	【研究室番号】	【電話番号】
安藤秀明	教授／看護学講座	C-112	6501	吉岡政人	教授／看護学講座	C-104	6509
利緑	講師／看護学講座	C-113	6522	髙階淳子	助教／看護学講座	B-102-2	6545
柴田聡	診療部長／秋田厚生医療センター消化器外科			酒井博崇	講師／藤田医科大学　保健衛生部		

授業の目的・到達目標

医療における多様な問題解決のために求められているチーム医療の実践を修得する。効率的に稼働し問題解決するチーム医療の担い手となる「良き医療人」に必要な「チーム医療」の在り方についてグループワークなどを通して、問題解決能力を養い、適切な対処が出来るようにする。

（1）問題解決に向けて多職種と効果的に協働する知識と実践能力を身につける。
（2）医療者、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。
（3）多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践するためのアセスメント、仮説検証、意思決定の知識と実践能力を身につける。
（4）根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直す知識と実践能力を身につける。
（5）自らの看護実践を見直しつつ、標準化する能力を身につける 。

本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目である」
　医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。

授業の概要と進行予定及び進め方

特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPw））（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ
（1）チーム医療の理論と演習
（2）チーム医療の事例検討
（3）コンサルテーションの方法
（4）多職種協働の課題

特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ
（1）特定行為関連法規
（2）特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習

成績評価の方法

講義：e-ラーニングの受講/確認テスト
演習：事例検討ディスカッション/観察評価
実習：ロールプレイ/観察評価
試験（筆記試験）：科目修了試験の実施（教室に集合しPC端末を用いて行う）

教科書・参考書・参考文献等

教科書等	書籍名	著者	出版社

コメント

本授業科目は「実務経験のある教員による授業科目である」
　医療・保健活動に実務経験を有した教員（医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士）が、その実践経験を生かして実践的な教育を行う。

授業展開	Web受講	授業内容
第1回　1－2時限 【担当】 柴田聡	?	手順書の位置づけ
第2回　3－4時限 【担当】 柴田聡	?	手順書の作成／手順書の評価／手順書の改良
第3回　1－2時限 【担当】 安藤秀明・吉岡政人・利緑	○	意思決定支援演習（1） ・インフォームド・コンセント：末梢留置型中心静脈カテーテル（PICC）留置
第4回　3－4時限 【担当】 安藤秀明・吉岡政人・利緑	○	意思決定支援演習（2） ・インフォームド・コンセント：末梢留置型中心静脈カテーテル（PICC）留置
第5回　5－6時限 【担当】 安藤秀明・吉岡政人・利緑	○	コンサルテーション～症例（1）　：せん妄～
第6回　7－8時限 【担当】 安藤秀明・吉岡政人・利緑	○	コンサルテーション～症例（2）：高カリウム血症～
第7回　9－10時限 【担当】 安藤秀明・吉岡政人・利緑	○	特定行為実践 総合実習（医療安全・チーム医療に関する実習）
第8回 【担当】 安藤秀明	○	意思決定支援 ・インフォームド・コンセントの理論 ・覚えておきたいインフォームド・コンセントのテクニック
第9回 【担当】 安藤秀明	○	意思決定支援 ・アセスメント、仮説検証、意思決定の理論 ・クリティカルシンキング ・特定行為に係る看護師の倫理
第10回　3－4時限 【担当】 酒井博崇	?	チーム医療（1） ・チーム医療の理論と事例検討 ・チーム医療に必要な医療者同士のコミュニケーション
第11回　5－6時限 【担当】 酒井博崇	?	チーム医療（2） ・チーム医療～終末期患者の退院支援～
第12回　7－8時限 【担当】 酒井博崇	?	コンサルテーション ・コンサルテーションの方法 ・専門外の科への依頼書作成、依頼の方法、判断
第13回　7－8時限 【担当】 木澤晃代	?	多職種協働の課題
第14回　9－10時限 【担当】 木澤晃代	?	チーム医療（他職種との協働）の事例検討
第15回　5－6時限 【担当】 安藤秀明・吉岡政人・利緑	?	包括評価 筆記試験：多肢選択式試験で、習得した知識を確認する。 事例検討：事例をもとに、病態や疾病について臨床推論を行いながら、これまでの学びを確認する。